

(23) レタス

(ア) 病害

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
軟腐病 発病初期	薬剤防除 1. 茎葉散布
灰色かび病	薬剤防除 1. 茎葉散布
菌核病	薬剤防除 1. 茎葉散布

(イ) 害虫

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
ヨトウガ 6月中旬～及び 8月中旬～	薬剤防除 1. 茎葉散布 第1回発生：6月中旬～7月中旬 第2回発生：8月中旬～9月中旬
ネキリムシ類 定植時	薬剤防除 1. 土壌表面株元処理
アブラムシ類 定植時 育苗期後半又は 定植前日～ 定植当日	薬剤防除 1. セル苗灌注 2. 株元散布（薬剤により使用時期が異なるためラベルをよく確認する。）
ナモグリバエ 育苗期後半 定植時 6月中旬～8 月中旬	薬剤防除 1. 苗箱灌注 2. 株元散布 3. 茎葉散布

(ウ) クリーン農業技術（病害虫防除関係分）（レタス）

- 発生モニタリングによる効率的防除
  - ・きめ細かなほ場観察による病害虫の発生初期確認
- 微生物農薬・微生物由来農薬の利用
  - ・軟腐病・腐敗症には初発前から予防的に微生物農薬の散布を開始
  - ・前半を銅剤にすることで効果を向上させる
  - ・ヨトウガには微生物由来農薬を発生初期に散布
- 耕種的防除

- ・ハウス、トンネル内の湿度抑制、連作回避、白黒ダブル全面マルチ栽培による各病害の感染機会及び雑草の発生抑制
- ・軟腐病・腐敗症の発病しづらい品種の利用

※注釈

●微生物農薬・微生物由来農薬の利用

軟腐病には結球始め頃より生物農薬の非病原性エルビニア・カロトボーラ水和剤もしくは銅水和剤を散布する。前半の防除を銅水和剤とするとより効果的である。

腐敗症には生物農薬のシュードモナスフルオレッセンス水和剤もしくは銅水和剤により防除する。前半の防除を銅水和剤にすると効果が向上する場合がある。

ヨトウガには微生物由来農薬のスピノサド顆粒水和剤を発生初期（若齢幼虫期）に散布する。

●軟腐病・腐敗症の発病しづらい品種の利用

腐敗症に対する品種の耐病性検定試験結果（平成 13 年上川農試、7月中旬定植、8月下旬調査）（平成 13 年度 普及推進事項 [上川農試] より）

供試品種	腐敗症の発病株率（％）		すそ枯病の発病株率（％）	
	比布町（白黒ダブルマルチ）	美深町（紙マルチ）	比布町（白黒ダブルマルチ）	美深町（紙マルチ）
カルマーMR	53	22	1	0
みずさわ	30	22	4	0
フロント	15	18	0	1
エムラップ 231	21	11	0	0
サリナス 88	8	9	1	0
シナノグリーン	9	6	0	0
テキサスグリーン	9	4	1	0